



わたしが政治をおもしろくする！

江東区議会議員 無所属

みつぎ

三次ゆりか 活動報告

平成 29 年 4 月発行

第4号

安心・安全な江東区 子育て・産後ケア1番の江東区に

- ひとり親支援（自立支援）
- 子育て（教育）
- 江東大家族（孤独を失くし、経済効果）



2016年4月～2017年3月の活動の一部をご報告します！

4月



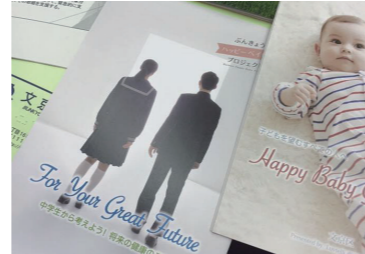
マギーズ東京(がん患者とその家族・友人が自分の力を取り戻す居場所「マギーズがんケアリングセンター」)新豊洲の壁塗りに行きました



門前仲町からがれおんに乗って花見クルーズに『江東ファンキー微魔女会』で行きました(=ω=)！参加されたい方募集中です



児童養護施設や引きこもりなどの男子女子と魂をぶつけてきた、シンガーソングライターの松本隆博さんと意見交換会をしました。



文京区シビックセンターにて、『ぶんきょうハッピーベイビープロジェクト』について若手市議会議員の会で参加して勉強してきました。



地域政党サミットで、木下博信埼玉県議の講演「首長から見た地方議会～コンビニ納税の生み親木下博信埼玉県議に聞く～」勉強しました



自由を守る会で『熊本大震災 被災者救援募金活動』新宿西口で開催しました。2時間45分で11万608円の募金が集まりました。



自分の誕生日に区政報告会を行いました。70名を超える方にお越しいただき、報告会をいたしました。来年も5月に開催予定です。



主人のNPOの活動で東北の被災地で子ども達に巨大カステラをつくるイベントに参加しました。津波にあったところ等見学しました。



【ふれあい工房 ゆめまーる】に行きました。障がい者の方々も一緒に働いて、産地直送の野菜や、パン、美味しいランチもあります



ヒロさんのアレルギー児にも対応できるお菓子作りに行きこどもや大人にとって、グルテンがどう影響するなど勉強してきました。



【在宅医療カレッジ(医療崩壊のすすめ～いま夕張市民から学ぶこと～)】森田洋之さんの講演にて在宅医療などの勉強してきました。



木村拓也の上を向いて歩こうが豊洲に来ていたのでみんなで参加してきました。子ども達もですが、お母さん達もとても喜んでました。



ファンキー江東微魔女会で門前仲町を練り歩き、初詣しました。次回は春はお花見です。江東区の微魔女さん集まれ～



ママハピEXPOららぽーと豊洲は5300名集まりました！



江東社会福祉会の集まりに参加しました。

ママ議員、子育て世代の味方 として、気持ち新たに邁進します！

産まれてきてくれてありがとう！



3月初節句です。産まれてきてくれてありがとう！



江東区役所に記念写真用のボードができました！婚姻届を出したとき、出生届をだしにくるとき、引っ越ししてきたときなどで区役所にきたときにでもぜひ写真とってSNSにアップしていただけたらと思います。



定例会報告 今回の出産という自らの経験を踏まえまして、社会の宝である子どもと、その宝を日々育む母親への支援に関しまして、一般質問をしました！！



一般質問 答弁内容（抜粋）	
Q 保育園の設置について 区役所 2F のピロティーなどの敷地に事業所内保育園を作るのはいかがか。	A 将来的な建替計画等を踏まえた全庁的な検討が必要であることから、現時点においては難しいものと考えている。
Q ふれあいサービスについて 「産前産後の1ヶ月間利用可能」となっているところを、「出産直後のみ利用可」と誤って認識している人が圧倒的に多くいる。周知を徹底すべきと考えるのがいかがか。 期間を最大2ヶ月まで延長可能にするなどは出来ないか。	A 「産前・産後それぞれ派遣期間を利用開始から一カ月」と明記するなど、掲載内容を工夫するとともに、ゆりかご面接においても正確な情報が伝わるよう努めていく。 利用期間の延長により、新たな利用者への影響が懸念されることから、慎重に検討していく。
Q 産後ケア事業について 産後の家事支援サービスを活用し、乗り切った。赤ちゃん以外の大人との会話やふれあいにより「一人ではない」という安心感が得られた。産後うつになるケースも少なくないため、産後ケア事業に引き続き取り入れていくべき。初産でない場合でも支援を受けられるようにすべきと考える。経済事情的に困難である家庭のことも考慮して、現在初産であれば3,000円で受けられる「日帰り型」を無料にするというのはいかがか。	A 産後ケア事業について。 第二子以降の産婦への提供は考えていない。 来年度は、里帰り出産された方も利用可能とし、より利用しやすい事業として展開する予定。
Q ゆりかご江東事業 「防災赤ちゃんバッグ」を再度ご提案する。乳児用防災グッズの支給をすべきと考えている。	A 乳児用防災グッズ支給については今後の検討課題とする。
Q 保育士の処遇改善 江東区の保育士の皆さんが安心して働けるようにさらなる処遇改善を求める。	A 国は月額六千円程度引き上げるとともに、技能や経験に応じて月額最大四万円の給与改善を実施するとしている。 また、都は四万四千円相当の処遇改善を図るとしている。 本区としても、更なる処遇改善に努めていく。
Q LGBT 問題 「パートナーシップ証明書」や「パートナーシップ宣誓書受領証」の発行を検討すべきと考える。	A 区では、啓発・教育等を通じて、理解を醸成していくことが喫緊の課題と捉えて取り組んでいるので、同性カップルをパートナーと証明する制度の導入については、現在のところ、理解度の向上を図りつつ、今後の検討すべき課題であると考えている。
Q 義務教育の給食費無償化 給食費の回収事務を考えると、回収を強化するために多額な予算を割くのではなく、給食費の無償化によって解決されるべきかと考えるのが区の見解を伺う。	A 学校給食費を無償化することは考えていない。

予算特別委員会 答弁内容（抜粋）	
Q 江東区・豊洲は悪いイメージで有名になってしまったことは残念だが、逆転の発想でこれをチャンスととらえ、江東区のPRも兼ねてふるさと納税で良いイメージを出していくのは？ 江戸三大祭の一つ、深川八幡宮例大祭のお神輿のVR映像を送るとか、VR映像の中に江東区ならではの江戸切子や水辺の映像ものせ、さらには豊洲新市場が移転したら市場の映像やオリパラ関連もPRできるのでは？	A 総務省のほうで制度自体の見直しを検討されているので当面は研究して検討していく。
Q 認可外保育施設保護者負担軽減事業について 認可保育園運営経費負担割合は平成27年度江東区一般会計決算をみると120、2億円。保育園児一人あたりの経費は0歳児39万1259円、保護者負担額は平均31,464円、1歳児の経費は20万4659円、保護者負担額は平均31,008円。江東区としても新たに家庭的保育事業と病児病後時保育も対応でき、重度障害児も対応できるベビーシッター事業者の活用をすべき	A 今後検討していく
Q 新生児・産婦訪問指導事業について Q、新生児の健康状態や産婦の健康状態を確認したり、産後うつや虐待防止にもつながるとも大事な事業。防災の観点から、首都直下地震の懸念もあるため家具転倒防止の状況を確認すべき。	A 地震予防のためのパンフレットを訪問の際お渡しして家具の転倒防止などについてお気をつけくださいとお伝えすることは可能。そのような取り組みは今後検討していく
Q 乳幼児健康診査事業について Q 健診で虐待を発見するという場合もある。全員健診していただくためにどのような取り組みをされているか。	A お電話やお手紙を出す各家庭に訪問させていただき早く健診を受けていただくように勧奨している。
Q 子どもを1人産むと成人するまでに大体1000万円かかるということはわかっている。だけどいつのタイミングでどれくらいのお金がかかってくるのか、わからないため、経済的事情で2人目、3人目産むのが難しいとの声をきく。健診時にでもわかりやすいような成人するまでのシミュレーションをすることは難しいか。	A 難しいと考える。
Q インフィオラータについて 緑と花の多い江東区のブランド力をさらに高めていきたいと考えます。緑化推進・環境美化活動の観点から江東区ならではの花絵イベントをこどもまつりや区民が参加するイベントなどから開始するのはいかがでしょうか？	A 花絵を含めて緑と花の多い江東区の特徴を捉えたイベントを工作教室の中で現実可能か検討をはじめたい。

この度第二子を授かることになり、今さらながら、妊婦になって、少子化を改善するためのヒントになるような、たくさんのことに気づかされたので、皆様にご報告させていただきます。

「超少子化時代」、江東区で子育てしやすくするために・・・

①妊婦の通勤・出産費用について
責任ある仕事を持つ者として、お腹でいのちを育てる妊婦として、それらを両立していくことはとても大変なことでした。仕事のために、ツワリの中通勤している方も少なくないと思いますが、満員電車でも優先席は譲っていただけず、エレベーターもすぐには乗れず…。さらに、出産費も70万円前後（江東区内の産婦人科）と、非常に高い！育児していくにも、たくさんお金がかかるのに、出産するのにこんなにお金がかかっていたら、病院で産まない選択をせざるを得ないような若者も増えてきてしまうのではないかと思います。今後、子育て専用車両や出産費助成等を提言していきたいと強く思う妊娠期間となりました。早速3月に鉄道会社にベビーカー専用車両（子育て専用車両）の要望書を提案しました。

②不妊治療について
不妊に悩むご夫婦は10組に1組ほどいと言われていますが、今回の私の妊娠も、不妊治療を経てのことでした。第一子は普通に妊娠できたのに、なかなか第二子を授からない「二人目不妊」、そして30を過ぎて子どもがほしいと結婚し、妊活をするも1年以上授からないという方が増えています。不妊治療はかかる金額も大きく、仕事をしていれば通院も大きな負担となります。最近では、男性が原因の不妊も多く、不妊全体の約4割を占めるそうです。女性として、若いうちから自分の子宮内のことなどを把握しておく必要があるのではないかと感じました。男性が検査を気軽に受けられるよう、啓発が必要だと思います。江東区には、NPO法人Fineなど、不妊治療を支え合うコミュニティもあります。不妊治療で悩む方々に孤独でないと感じたいです。

★疑問や困ったことがあれば、いつでもメッセージ下さい！★

先の第一定例会で私が質問したことが、第二定例会で早速条例改正されました！これは、「浦安市では、低所得世帯は3人目以降、一律保育料無料を拡大することですが、江東区は？」という、3人目を妊娠されている江東区のお母さんからのお問い合わせを、質問したものです。

一昨年、私はたくさんの江東区民の皆様のご支持により初当選させていただきましたが、新人かつ一人会派ということで、「何もできない」と言われることもありました。しかしながら、子育て世代の声を肅々と聞き、地道に調べ、議会で質問することで、新人の私でもお役に立てることがあると実感いたしました。

第四定例会は産休を取らせていただきましたが、第一定例会からは復帰いたしました。お時間のある方は、ぜひ一度区議会を傍聴に来ていただきたいです。一昨年の一般質問は、子育てママやシングルマザーの方含め、40名を超える方にお越しいただき今年は20名ほどでした。

これからも、江東区にお住いの皆様の疑問や思いをしっかりと区政につなげていけるよう、リアルな現場に出向き、どんどんご意見をお伺いさせていただきます。

三次ゆりかプロフィール
1985年5月1日生まれ。江東区立東雲小学校、深川第五中学校、都立紅葉川高校卒。視覚障がい者だった祖母と父親の元で育つ。23歳で出産、いったん仕事を中断するもシングルマザーとなり起業。預け先に困った経験から自分のように困る母親も少なくないのでは…と、公私に渡る、子育て・母親支援のイベント企画、事業支援を展開。
2015年江東区議会議員選挙 初当選。建設委員、医療介護制度特別委員会 委員

活動歴
● ママパワーが日本を変えたいと信じ、ママを支える活動J★mothers設立
● BSフジ「ママボンキッキ」レギュラー過去出演
● 書籍「やっぱりゆりかはいくじなし★～ママが楽になる育自の方程式～」

Twitter、facebook、LINE@(@yurika) もやっています！

発行人 三次ゆりか / 江東区豊洲 5-5-1-509 / E-MAIL info@3next.co.jp

その他の質問は HP に細かく記載してありますので、ご覧ください >> <http://mitsugiyurika.com>

